

要求水準確認報告書（要求水準書又は技術提案書の水準を下回る可能性があるもの）

新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・限研吾建築都市設計事務所共同企業体

①関係団体の要望、行政協議等により変更したもの
②設計の詳細検討により変更したもの

凡例

要求水準の分類	番号	頁	業務要求水準書	要求水準書に関する質問書への回答			技術提案 (提案頁)	設計・施工 段階における 対応	応募者に確認を要する技術的事項 (技術提案書)			業務 遂行 方針 通し 番号	業務遂行方針	要求水準確認の段階 及び手法 (業務の進捗状況に応じて 適宜見直し)	確認者					要求水準確認欄					
				質問 番号	質問内容	回答			確認 番号	確認事項	回答				建築	構造	電気	機械	建設 / 監理 J S C	対応報告/事前(JV)	参照先				
																						設計	建設 / 監理		
1. 要求水準書の水準を下回る可能性があるもの																									
3 (1) 電気設備性能	493	3-24	① 最大需要電力は、オリンピック・パラリンピック競技大会時は約15,000kW想定とし、オリンピック・パラリンピック競技大会後は約4,000～6,000kW想定とする。	—	—	—	—	—	—	—	—	803	最大需要電力をオリンピック・パラリンピック競技大会時は約15,000kW、オリンピック・パラリンピック競技大会後は4,000～6,000kWと想定し、特高トランスは6,000kVA×2本(大会後)+10,000kVA×2本(大会時のみ)を計画する。	基本	電気設備設計概要書							組織委員会から、オリンピック・パラリンピック競技大会時の最大需要電力を12,300kWとする変更要望があったことから、最大需要電力を12,300kWに変更し、これに伴い、電力の工事費負担金の縮減及び受電用変圧器等についても計画を変更する。	電気設備設計概要書 5-4-1		
														実施	電気設備設計図										
														建設	製作図										
														完了時	完成検査報告書、工事監理報告書										
556	3-27	141	d) オリンピック・パラリンピック競技大会時には、新国立競技場周辺に組織委員会が7,000～8,000kW程度の発電機を4箇所 ¹⁾ に別途設置する予定であり、当該発電機から高圧変電室までの配線ルートを整備し、高圧変電室内に接続スペースを確保する。	141	競技空間の照明が停電時100%保安発電機での点灯となっていますが、発電機容量はオリンピック・パラリンピック競技大会後の照明基準100%を満たすものと考えて宜しいでしょうか。(大会時はオーバーレイ工事にて非常発電機を追加すると想定)	—	—	—	—	—	—	—	871	オリンピック・パラリンピック競技大会時に、新国立競技場周辺に組織委員会が設置する7,000～8,000kW程度の発電機から高圧変電室までの配線ルートを整備し、高圧変電室内に接続スペースを確保する。	基本	電気設備設計概要書							組織委員会から、オリンピック・パラリンピック競技大会時の発電機の設置位置を3箇所とする旨の要望があったことから、組織委員会が設置する発電機スペースから、オリンピック・パラリンピック競技大会時に使用する高圧受変電設備までの配線ルートを3箇所とする。	電気設備設計概要書 5-4-3	
															実施	電気設備設計図									
															建設	施工図、製作図									
															完了時	完成検査報告書、工事監理報告書									

要求水準の分類	番号	頁	業務要求水準書	要求水準書に関する質問書への回答			技術提案(提案頁)	設計・施工段階における対応	応募者に確認を要する技術的事項(技術提案書)			業務遂行方針通し番号	業務遂行方針	要求水準確認の段階及び手法(業務の進捗状況に応じて適宜見直し)	確認者					要求水準確認欄				
				質問番号	質問内容	回答			確認番号	確認事項	回答				設計			建設/監理	JSC	対応報告/事前(JV)	参照先			
															建築	構造	電気					機械		
2. 技術提案書の水準を下回る可能性があるもの																								
	172	3-6	② その他 太陽光発電設備、微細な水滴の噴霧を利用した装置等、最新技術の導入に努める。その際、設置・活用方法について提案する。	—	—	—	—	180	コンコースに設置するウォーターミストの延べ長さ(ライン状でない場合は具体的に)をお示しください。	コンコースに、2ヶ所配置することを予定しており、総延べ長さは、約50m(約25m/ヶ所)を想定しています。	321	コンコースに、2ヶ所、総延べ長さ約50m(約25m/ヶ所)を検討する。	基本	空調換気設備設計概要書						○	○	サービス(利便性)と嗜好性のバランスに配慮をして、屋内コンコースの設置場所について見直しを行う。	空調換気設備設計概要書 6-8-1 6-8-技-001 ~006	
	322	3-14	b) 災害時に聴覚障がい者が一人で取り残される可能性のあるトイレ、授乳室、休憩室等には、フラッシュランプを設置する。	—	—	—	—	—	ユニバーサルデザインの計画(2/2) 4-3災害時における視覚警告による避難サポート ・各トイレ、休憩室、授乳室にフラッシュランプを設置します。さらに、 ブース全てに 設置を行うことにより、最大限の安全を確保します。	—	538	各トイレ、休憩室、授乳室にフラッシュランプを設置します。さらに、ブース全てに設置を行うことにより、最大限の安全を確保する。	基本	基本設計説明書およびユニバーサルデザイン報告書 電気設備設計概要書						○	○	各トイレ、各休憩室、授乳室にフラッシュランプを設置する。ユニバーサルデザインワークショップにおける協議を踏まえ、 トイレ2ブースに対して、天井に1個のフラッシュランプ を設置する計画に変更。また、トイレ内の通路や手洗いにもフラッシュランプを設置することで、トイレ内全体の誘導性能が向上する計画に変更した。	基本設計説明書 3-4-1(7)及びユニバーサルデザイン報告書 緊急対応設備電気設備設計概要書 5-12-4	
	340	3-15	c) 車いす使用者用トイレやオストメイト対応トイレを、客席の種類に応じてコンコースに設置し、様々な身体状況の観客が利用しやすい環境を整備する。	—	—	—	—	—	○ユニバーサルデザインの計画(2/2) (略) 介助犬トイレ内には、 人用便座も設置 することで、人と犬が一度に用を足すことが可能となり時間をかけずに用を済ませられるようになります。 基本図面(12/12)	—	556	(略) 介助犬トイレ内には、 人用便座も設置 することで、人と犬が一度に用を足すことが可能となり時間をかけずに用を済ませられるようにする。	基本	基本設計説明書およびユニバーサルデザイン報告書						○	○	(略) 補助犬ユーザーは人と犬と一緒に利用するという認識はないという日本補助犬協会のヒアリング結果を受けて、補助犬トイレは 補助犬専用 に変更。 また、同ヒアリングにおける要望により、外部にも1か所設置。	基本設計説明書3-4-1(7)及びユニバーサルデザイン報告書 トイレ計画 給排水衛生設備設計概要書 7-8-1、7-8-技-001・002	
													実施	建築設計図 ユニバーサルデザインワークショップ報告書 給排水衛生設備設計図						○	○			
													建設	施工図若しくは製作図による								○	○	
													完了時	完成検査報告書若しくは工事監理報告書による								○	○	

①関係団体の要望、行政協議等により変更したもの	凡例
②設計の詳細検討により変更したもの	

要求水準の分類	番号	頁	業務要求水準書	要求水準書に関する質問書への回答			技術提案(提案員)	設計・施工段階における対応	応募者に確認を要する技術的事項(技術提案書)			業務遂行方針通し番号	業務遂行方針	要求水準確認の段階及び手法(業務の進捗状況に応じて適宜見直し)	確認者					要求水準確認欄			
				質問番号	質問内容	回答			確認番号	確認事項	回答				建築	設計			建設/監理	JSC	対応報告/事前(JV)	参照先	
																構造	電気	機械					
(14) 記念作品等	466	3-20	旧国立競技場敷地内に存在していた炬火台、壁画等の記念作品や学徒出陣の碑等25作品(【参考資料14】「記念作品等一覧」参照。)については、新国立競技場内及び敷地内への再配置や保存を行う場所を検討し、必要に応じて、床や壁の補強を行う。	126	「要求水準にある記念品等については、新国立競技場内及び敷地内への再配置や保存を行う場所を検討し、必要に応じて、床や壁の補強を行う。」とありますが、記念品等の再配置工事は別途と理解して宜しいでしょうか。	貴見のとおりです。	○ 基本図面(1・3・4・6/12)各平面図に記念作品などを配置している。 基本図面(1/12) ■野外施設計画 ・主要なアプローチ部分を中心に配置した記念作品 基本図面(3/12) 記念作品リスト(地下2階) ・下記に示す記念作品を建物内または壁面に設置する。 壁面3:B2階デッキ下、壁面4:B2階デッキ下、壁面5:B2階駐車場、壁面6:B2階歩道上空地、壁面7:B2階駐車場、壁面8:B2階歩道上空地、壁面9:B2階駐車場、壁面10:B2階歩道上空地、壁面11:B2階駐車場、壁面12:B2階歩道上空地、壁面13:B2階デッキ下、記念碑9:B2階歩道上空地、記念碑11:B2階デッキ下 基本図面(4/12) 旧競技場のメインスタンドにあったシンボルである壁画「野見宿禰」「ギリシャの女神」を東側エントランスに設置 記念品リスト(1階・5階) ・下記に示す記念作品を建物内または壁面への設置を想定する。 壁面1:1階東側デッキ、壁面2:1階東側デッキ、塑像2:1階外構、塑像3:1階外構、塑像4:1階外構、塑像5:1階外構、塑像6:1階外構、塑像7:1階外構、彫像8:1階外構、記念碑10:1階外構、記念碑12:1階外構、鋳物:5階空の杜東側 基本図面(6/12) 旧炬火台を設置	—	—	—	—	740	技術提案書を踏まえて記念作品等の再配置場所を提案、必要に応じて、床や壁の補強を行う。	基本	基本設計説明書	○					○	技術提案書を踏まえて記念作品等の再配置場所についてアドバイザリー会議の結果を受けて、提案を行った。 <u>アドバイザリー会議</u> では、壁画の保存環境として駐車場以外の場所の提案と、壁画をできるだけまとめて展示しては、という意向が示された。 ○ その結果、技術提案時の南側駐車場および外苑西通りに <u>壁画を分散配置していた計画から、ブロードキャストコンパウンドにまとめて配置する計画に変更する予定。</u> また、 <u>彫刻等</u> についても、 <u>アドバイザリー会議の意向を踏まえ</u> 、作品のテーマ等ごとに群として <u>まとめて配置する計画に変更する予定。</u>	基本設計説明書 3-4-1(14) 記念作品等
	473	3-21	① 構造形式(耐震構造、制振構造、免震構造)については、性能、経済性、工期、建築計画との整合性などを総合的に勘案し、最適な形式を採用する。	—	—	—	—	—	146	多くの利用者が通行する部位にエキスパンションジョイントが設けられています。利用者の安全性は確保されていますと考えてよろしいですか。また、利用者の安全性を確保するためのエキスパンションジョイント設計方針をお示しください。	エキスパンションジョイントの可動量はレベル2地震時で±100mm±200mmを設定しています。跳ね上げタイプではなく、スライド式のエキスパンションジョイントを採用し、利用者の安全性に配慮した計画とします。	755	エキスパンションジョイントの可動量はレベル2地震時で±100mm±200mmを設定。スライド式のエキスパンションジョイントを採用し、利用者の安全性に配慮した計画とする。	基本	基本設計説明書	○	○				○	・スタンド内のエキスパンションジョイントの位置を、 <u>R2通りからR3通り</u> に変更する。 ・変更により、オリンピック・パラリンピック時のヘッドオンの形状変更(組織委員会要望)に対応する架構計画とし、また、約8万席スタンド改修時における1層スタンドのオーバーレイの平面範囲をフレキシブルに計画できる。 ・1層スタンド架構は、レイカー梁を大梁として耐震要素に有効に利用しつつ、常時荷重の梁たわみを抑える。 ○ エクスパンションジョイントは、車いす席および車いすの通路幅を避けた位置に配置し、また、スライド式の機構により、利用者の安全性に配慮した計画とする。 ・車いす利用者の安全性等は、ユニバーサルデザインWSにて、事例説明を行い、移動に支障がないことの確認が得られた。 ・周方向かつ長大スパンであることから、性能試験を施工段階で行う。 ・エキスパンションジョイントの可動量はレベル2地震時で±100mm±200mmを設定する。	構造設計概要書 2-2 1層スタンド 構造体の縁を切る位置の変更 基本設計説明書 3-4-1(17) エキスパンションジョイント計画
														実施	設計図 構造計算書	○	○						
														建設	施工図若しくは製作図(設計図書通り出来ていること) ※要協議:実施設計時の確認で終了								
														完了時	完成検査報告書、工事監理報告書								

①関係団体の要望、行政協議等により変更したもの	凡例
②設計の詳細検討により変更したもの	

要求水準の分類	番号	頁	業務要求水準書	要求水準書に関する質問書への回答			技術提案 (提案頁)	設計・施工 段階における 対応	応募者に確認を要する技術的事項 (技術提案書)			業務遂行 方針 通し 番号	業務遂行方針	要求水準確認の段階 及び手法 (業務の進捗状況に応じて 適宜見直し)	確認者					要求水準確認欄	
				質問 番号	質問内容	回答			確認 番号	確認事項	回答				建築	構造	電気	機械	建設 / 監理 J S C	対応報告/事前(JV)	参照先
	553	3-26	b) オリンピック・パラリンピック 競技大会時に使用する 高圧変電設備は、通行・避難 に支障のない通路やバック ヤードなどに設置できる計画と する。	—	—	—	—	167	参考添付資料では、「大会終了時に設置される高圧変電設備は合計6か所の計画とし」とあり、基本図面5及び6では高圧電気室が12か所と記載されています。異なる記載となっていますが、高圧変電設備の計画について具体的に示してください。	参考添付資料の「大会終了時に設置される…」は、「大会時に仮設される…」に訂正いたします。仮設される高圧変電のトランス容量合計を24,000kVAとしています。	866	オリンピック・パラリンピック競技大会時に使用する高圧変電設備は通行・避難に支障のない位置に配置する。	基本	電気設備設計概要書	○	○	○	○	○	組織委員会よりオリンピック・パラリンピック競技大会時のみに使用する高圧変電設備の設置位置の変更要望があったことから、外構部から 競技場内部及び付属設備棟に変更 。	電気設備設計概要書 5-4-4高圧変電設備 (仮設高圧変電設備)
(11)音響設備	6223-30		① 消防法による非常警報設備として、非常放送設備を整備する。	—	—	—	—	105	○ ユニバーサルデザインの計画(2/2) 3-4 災害音声誘導による安全性の確保 ・①座席から 観客席出入口 への誘導、 ・② 観客席出入口から避難階段 への誘導と、 避難方向を音声で示す避難誘導灯の配置を行うことで、安全な避難環境を形成します。	詳細は所轄消防協議により、誘導灯の設置位置や誘導音のレベル調整により、非常放送中においても誘導音を停止させない運用を前提としており、視覚障がい者の避難誘導に対して有効であると考えます。											
				—	—	—	—	105-2	災害音声誘導システムについて、回答では「誘導灯の設置位置や誘導音のレベル調整により、非常放送中においても誘導音を停止させない運用を前提としており」とありますが、誘導音を停止させない運用事例があればお示ください。	誘導音を停止させない運用の事例として、 ・1999年竣工 複合ビル(事務所・商業)名古屋市 ・2015年竣工 大型商業施設 さいたま市 などがあります。 消防予第245号の『誘導灯及び誘導標識に係る設置・維持ガイドライン』に記載があります。	940	詳細は所轄消防協議により、誘導灯の設置位置や誘導音のレベル調整により、非常放送中においても誘導音を停止させない運用を前提に、所轄消防と協議を行う。	基本	電気設備設計概要書	○	○	○	○	○	消防との協議により、観客席出入口の災害音声誘導システム(音声付誘導灯)については、各音声と同時に鳴動することで誘導を混乱させる可能性があるとの見解を得たため、コンコースに至る 観客席出入口は誘導音声の無い一般型誘導灯を設置する 。 音声付誘導灯については、階段室入口及び最終退出口にのみ設置する。	電気設備設計概要書 5-2-1